

| | |
|-------------------------|------|
| 第18回 医師の働き方改革の推進に関する検討会 | 資料 2 |
| 令和5年10月12日 | |

医師の勤務実態について

「医師の勤務環境把握に関する研究」調査概要

1. 調査背景

令和6年4月の医師に対する時間外休日労働の上限時間規制の適用前において、医師の時間外労働の状況やその分布等の実態把握は不可欠であることから、平成28年、令和元年に実施した厚生労働科学特別研究事業である「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究（研究代表者：井元清哉）」及び「医師の専門性を考慮した勤務実態を踏まえた需給等に関する研究（研究代表者：小池創一）」と同等規模の勤務実態調査を行った。

2. 研究班

研究課題名：「医師の勤務環境把握に関する研究」

研究代表者：小池 創一（自治医科大学地域医療学センター 地域医療政策部門・教授）

研究分担者：谷川 武（順天堂大学大学院 医学研究科 公衆衛生学講座・主任教授）

和田 裕雄（順天堂大学大学院 医学研究科 公衆衛生学講座・教授）

福井 次矢（東京医科大学 茨城医療センター・病院長）

片岡 仁美（岡山大学病院 ダイバーシティ推進センター・教授）

吉村 健佑（千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター・特任教授）

佐藤 香織（明治大学 商学部 専任准教授）

井出 博生（東京大学未来ビジョン研究センター データヘルス研究ユニット・特任准教授）

種田 憲一郎（国立保健医療科学院 国際協力研究部・上席主任研究官）

3. 調査期間

令和4年7月11日（月）～17日（日）

4. 調査対象

①施設調査 全国全ての病院と無作為抽出された診療所並びに介護老人保健施設等。

配布施設18,974施設（令和元年調査（R1調査）19,112施設）

②医師調査 全国全ての病院数の半数（4,087病院）を病床規模に応じて層化無作為抽出した病院に勤務する医師、またそれ以外の医療機関においては、上記全施設に勤務する医師を対象に調査票を配布した（WEBでも回答可能とした。）。

5. 調査内容

病院・常勤勤務医の1週間の労働時間、診療科別の時間外・休日労働時間等の調査を行った。

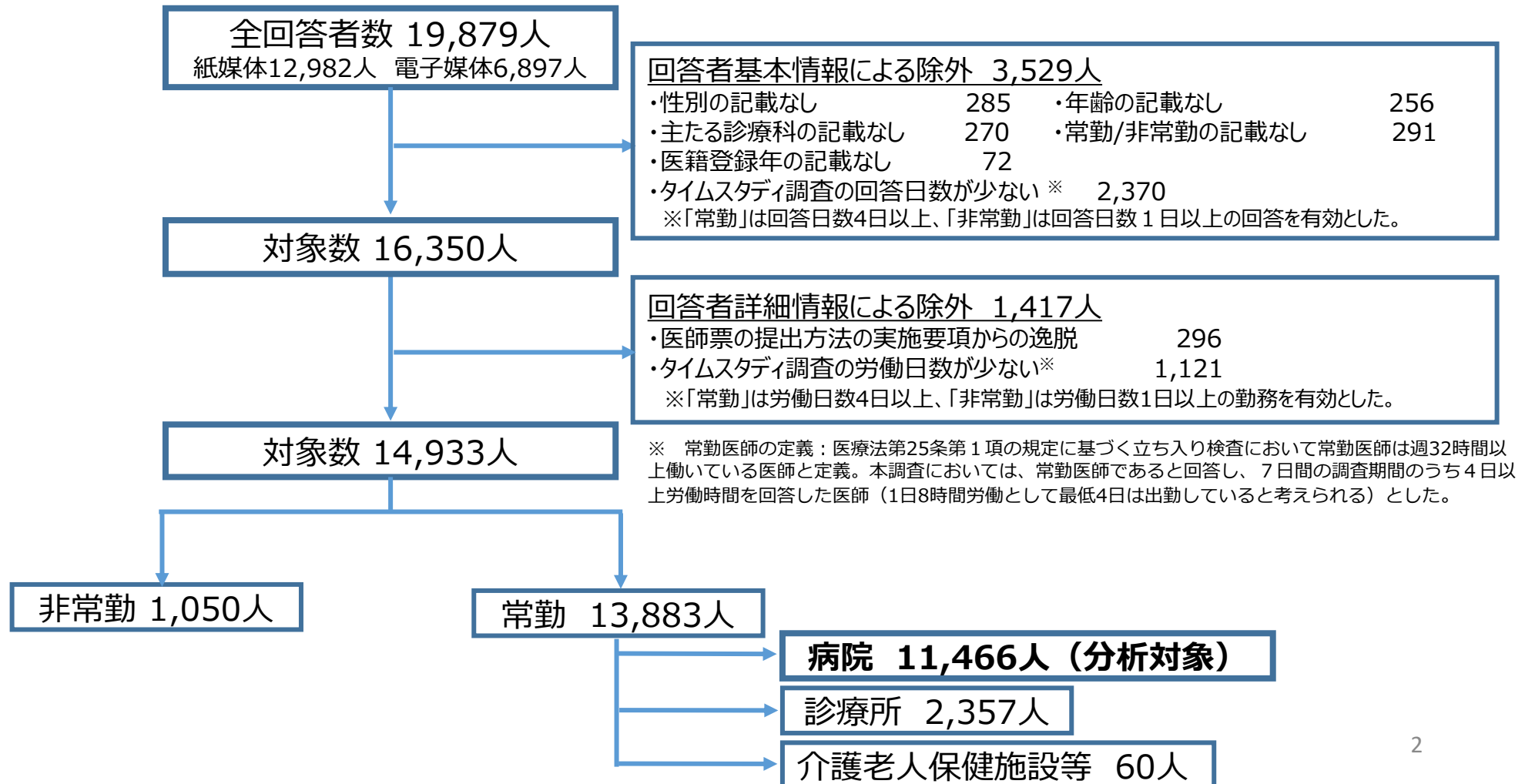
6. 回収数

【施設票】5,424施設（回収率28.6%、（R1調査）3,967施設）【医師票】19,879人（WEB回答者含む、（R1調査）20,382人）

「医師の勤務環境把握に関する研究」分析対象データについて

- 今回調査（R4調査）は平成28年、令和元年の医師の勤務実態調査と同様に、全回答者のうち、病院勤務の常勤医師を分析対象とした。
- H28調査、R1調査と同様、兼業先の労働時間も含めて調査を行った。
- 全回答者数（19,879人）は平成28年（15,677人）とR1調査（20,382人）と同等の規模であった。

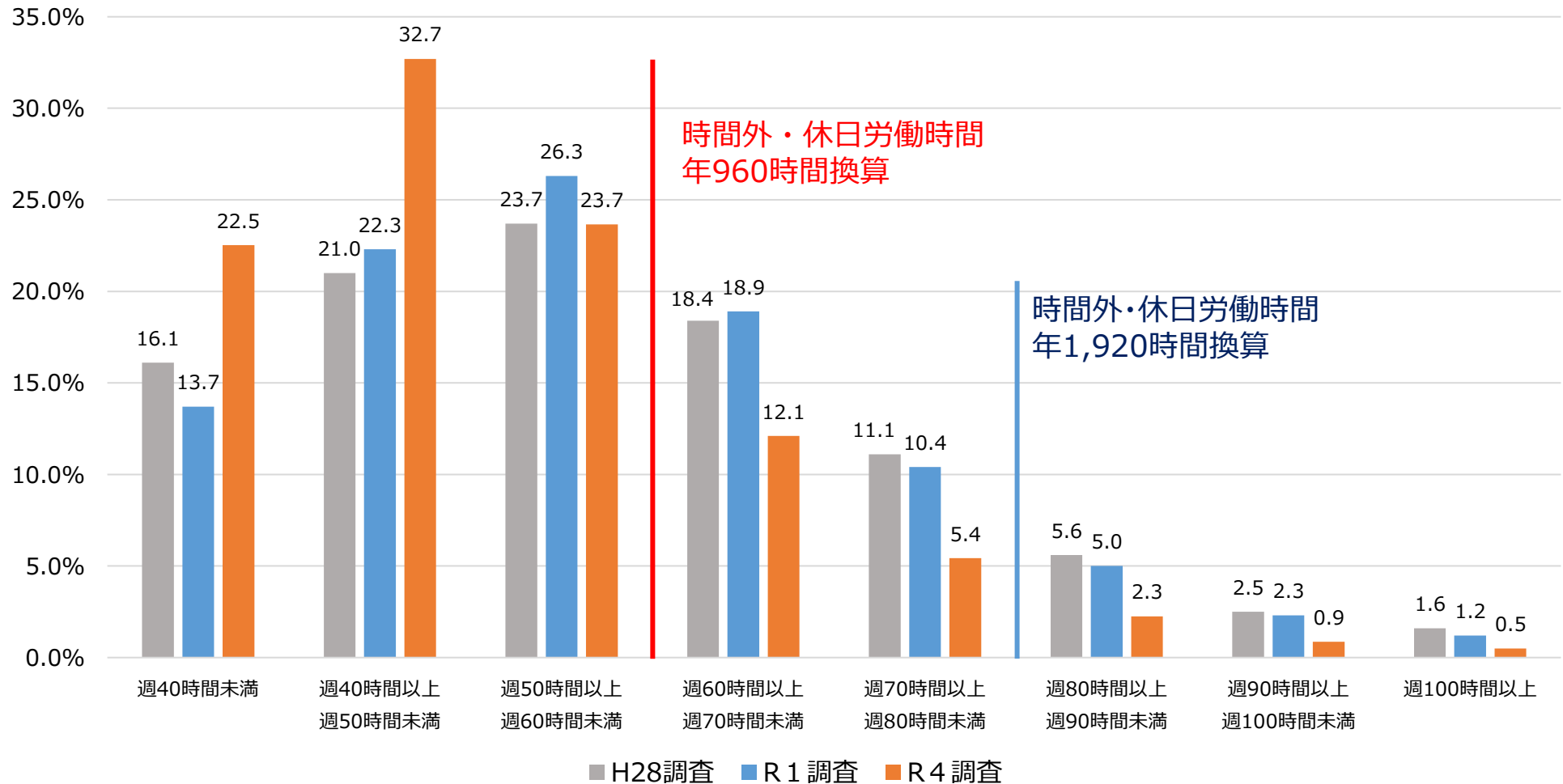
- ※ H28調査：平成28年厚生労働科学特別研究事業「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究（研究代表者：井元清哉）」
- ※ R1調査：令和元年度厚生労働科学研究事業「医師の専門性を考慮した勤務実態を踏まえた需給等に関する研究（研究代表者：小池創一）」
- ※ H28調査の分析対象者は常勤勤務医であり、勤務先を問わない。



週労働時間区分と割合 <病院・常勤勤務医>

○ H28調査、R 1 調査、今回調査（R 4 調査）の病院・常勤勤務医の時間外・休日労働時間を週労働時間区分と割合で集計した。

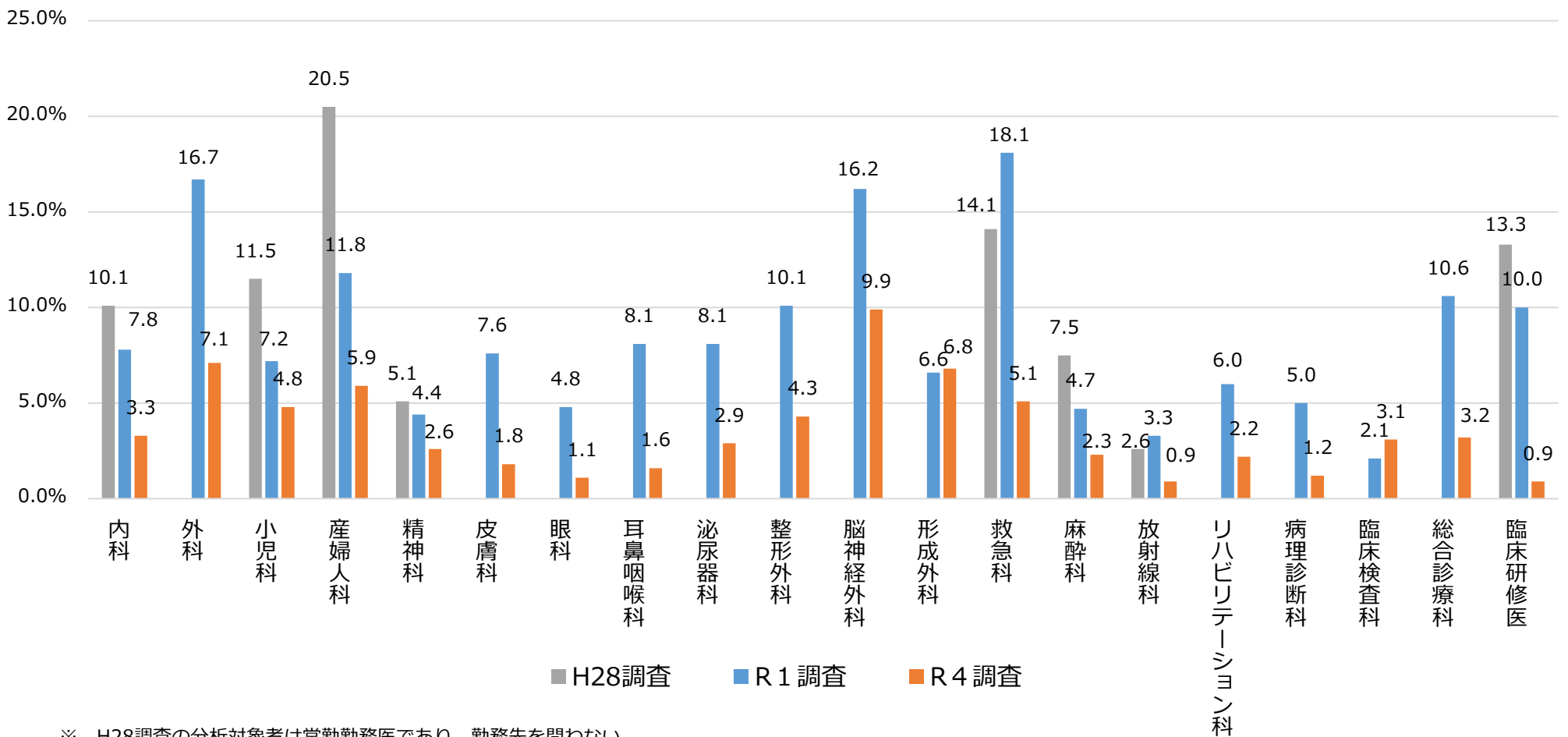
□ 時間外・休日労働時間が年1,920時間換算を超える医師の割合は9.7%（H28調査）、8.5%（R 1 調査）、3.6%（R 4 調査）と減少していた。



- ※ H28調査の分析対象者は常勤勤務医であり、勤務先を問わない。
- ※ 労働時間には、兼業先の労働時間を含み、指示無し時間を除外している。
- ※ 宿日直の待機時間は労働時間に含め、オンコールの待機時間は労働時間から除外した（労働時間＝診療時間＋診療外時間＋宿日直の待機時間）。
- ※ R 1 調査、R 4 調査では宿日直許可を取得している医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を労働時間から除外している。
- ※ R 1 調査ではさらに診療科別、性・年齢・勤務医療機関の構成が、「H30三師統計」の構成と同様になるように調整を行っている。
- ※ 週労働時間の区分別割合は、小数点第2位で四捨五入している。
- ※ R 4 調査で時間外・休日労働時間年1,920時間換算を超える医師の割合について、各労働時間区分の四捨五入後の数字を合計すると3.7%であるが、全体の数から集計し、四捨五入すると3.6%となる。

診療科別の時間外・休日労働時間が年1,860時間超の医師の割合

- H28調査、R1調査、今回調査（R4調査）の病院・常勤勤務医の時間外・休日労働時間が年1,860時間換算を超える医師の割合を診療科別に集計した。
- 時間外・休日労働時間が年1,860時間換算を超える医師の割合が高い診療科は脳神経外科（9.9%）、外科（7.1%）、形成外科（6.8%）、産婦人科（5.9%）、救急科（5.1%）であった。



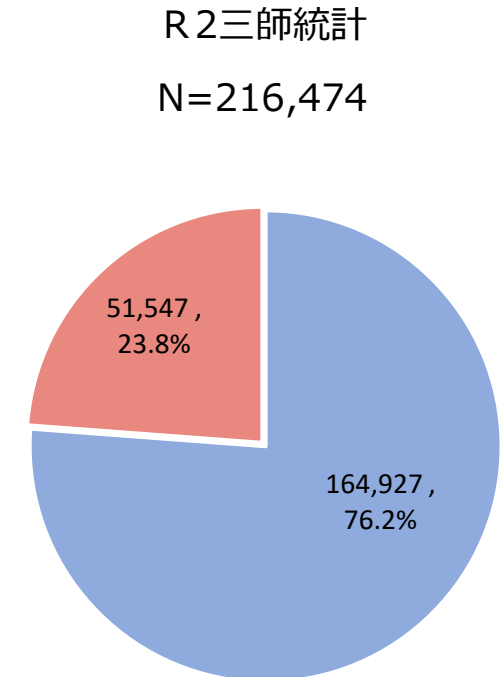
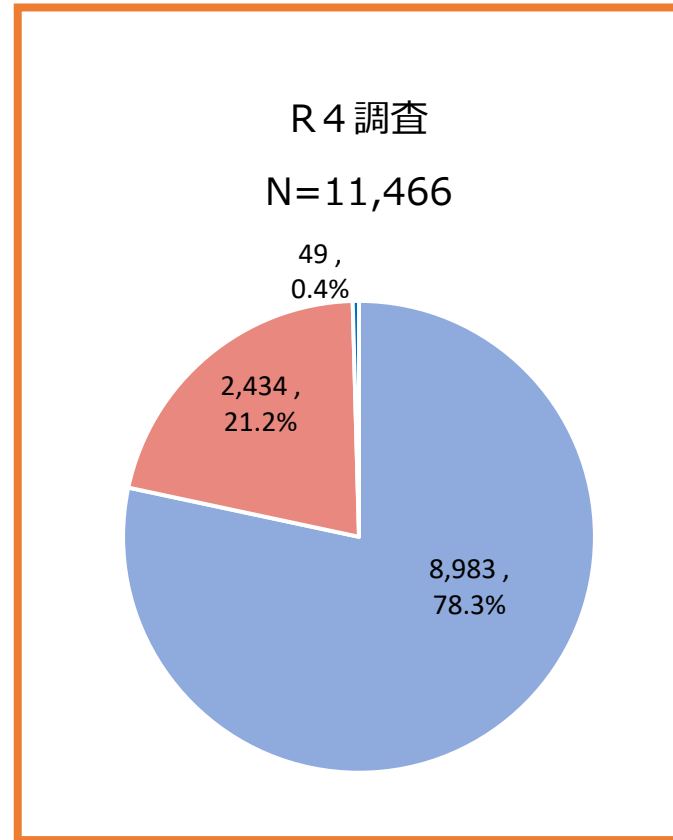
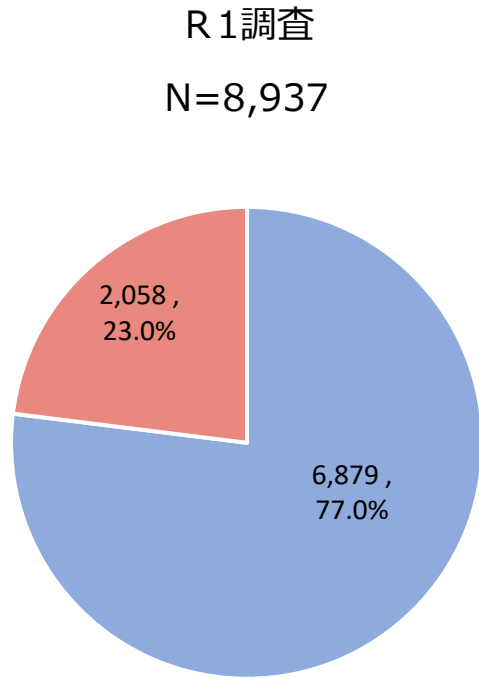
- ※ H28調査の分析対象者は常勤勤務医であり、勤務先を問わない。
- ※ H28調査の設問は、19診療科ではないため、比較不可な診療科がある。
- ※ 労働時間には、兼業先の労働時間を含み、指示無し時間を除外している。
- ※ 宿日直の待機時間は労働時間に含め、オンコールの待機時間は労働時間から除外した（労働時間＝診療時間＋診療外時間＋宿日直の待機時間）。
- ※ R1調査、R4調査では宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を労働時間から除外している。
- ※ R1調査ではさらに診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。
- ※ 「時間外・休日労働時間が年1,860時間超」は週78時間45分超勤務と換算した。

参 考

「医師の勤務環境把握に関する研究」分析対象者背景 性別の割合〈病院・常勤勤務医〉

○ R 1 調査、今回調査（R 4 調査）の回答者と R 2 三師統計の病院・常勤勤務医の性別の分布を比較した。

□ R 4 調査は、R 1 調査、R 2 三師統計と比較すると、回答者の性別の割合はほぼ同一。

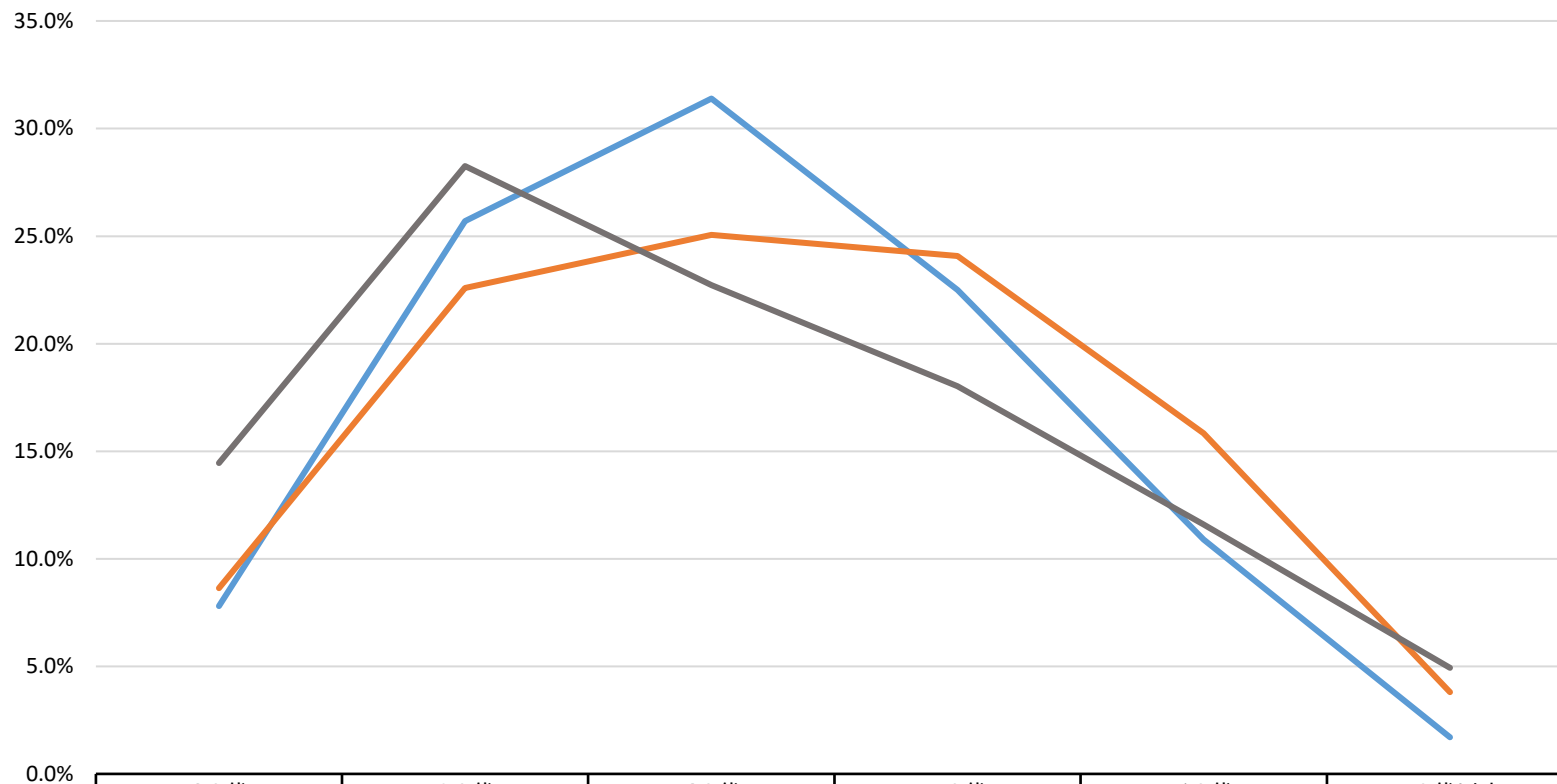


■ 男性 ■ 女性 ■ 回答しない

※ R 2 三師統計は、病院従事者数データ。

「医師の勤務環境把握に関する研究」分析対象者背景 年齢分布〈病院・常勤勤務医〉

- R 1 調査、今回調査（R 4 調査）の回答者と R 2 三師統計の病院・常勤勤務医の年齢分布を比較した。
- R 4 調査は、R 2 三師統計と比較すると、20代・30代の回答割合が低く、40－60代の回答割合が高い。



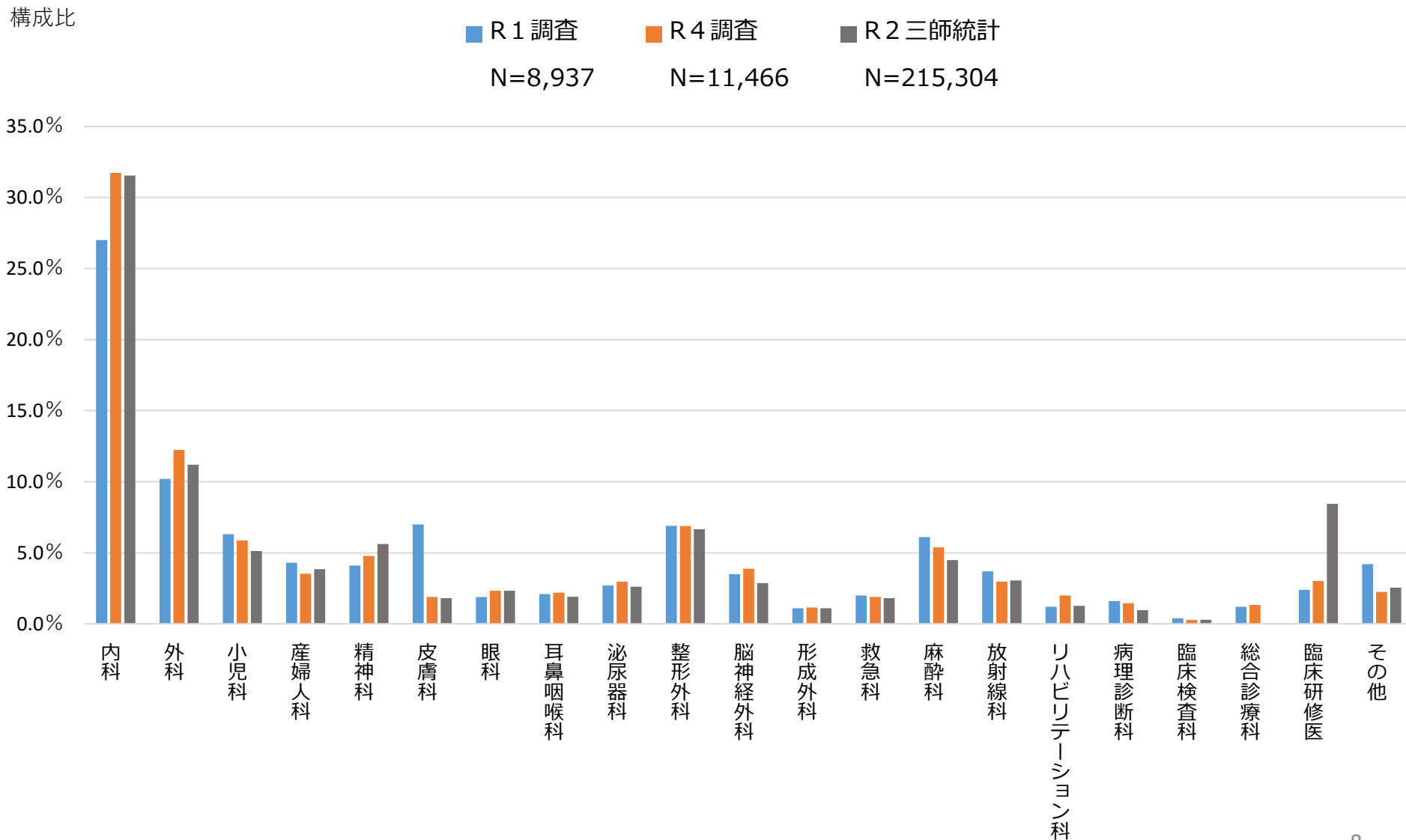
| | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| R1調査 N=8,937 | 7.8% | 25.7% | 31.4% | 22.5% | 10.9% | 1.7% |
| R4調査 N=11,466 | 8.6% | 22.6% | 25.1% | 24.1% | 15.8% | 3.8% |
| R2三師統計 N=216,474 | 14.5% | 28.3% | 22.7% | 18.0% | 11.6% | 4.9% |

※ R 2 三師統計は、病院従事者数データ。

「医師の勤務環境把握に関する研究」分析対象者背景 主たる診療科分布〈病院・常勤勤務医〉

○ R 1 調査、今回調査（R 4 調査）の回答者と R 2 三師統計の病院・常勤勤務医の主たる診療科分布を比較した。

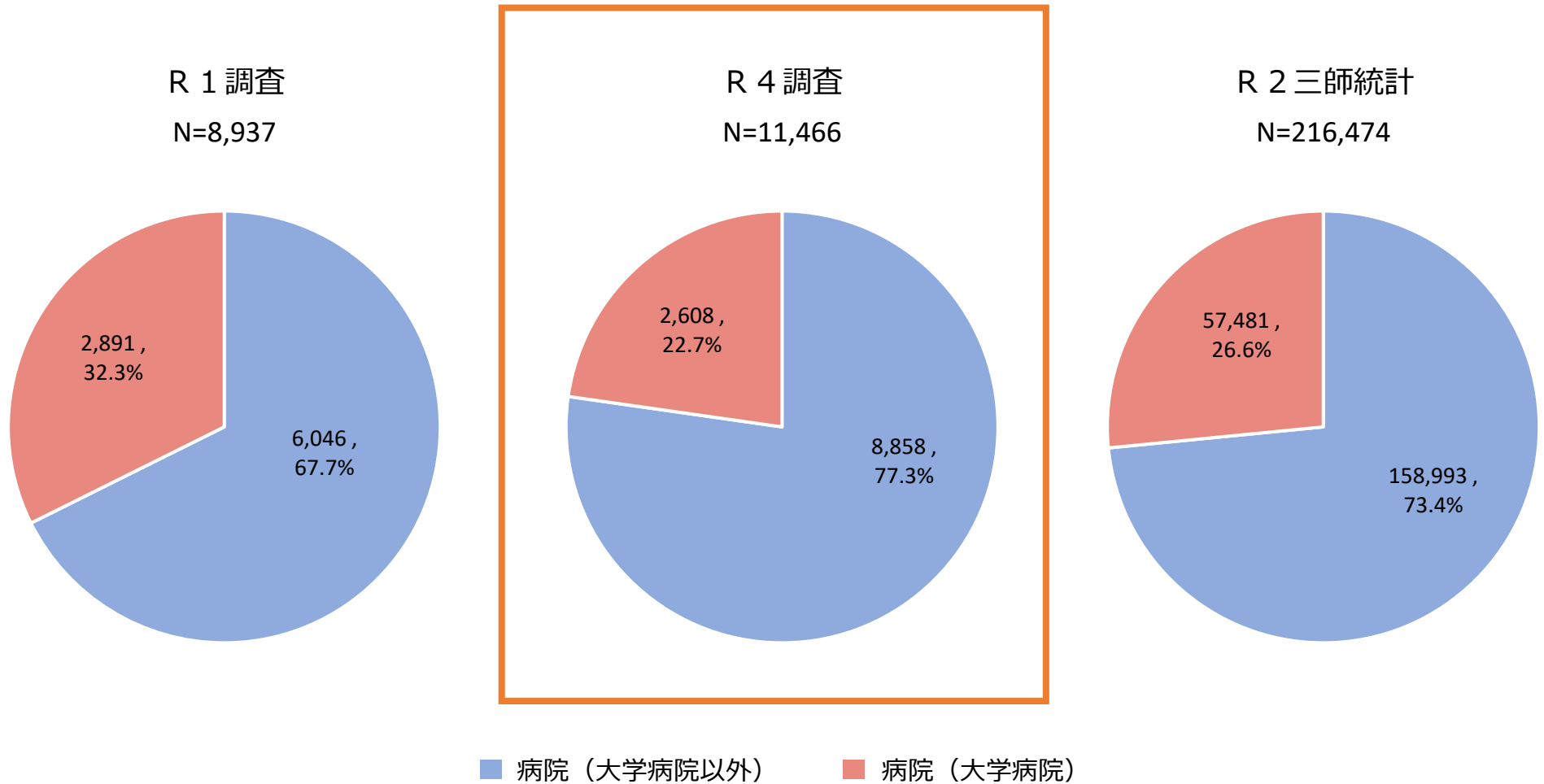
□ R 4 調査は、R 2 三師統計と比較すると、臨床研修医を除き同様の分布であった。



※ R 2 三師統計は、病院従事者数データ（診療科不明を除く）。

「医師の勤務環境把握に関する研究」分析対象者背景 主たる勤務先分布〈病院・常勤勤務医〉

- R 1 調査、今回調査（R 4 調査）の回答者と R 2 三師統計の病院・常勤勤務医の主たる勤務先分布を比較した。
- R 4 調査は、R 2 三師統計と比較すると、大学病院勤務医の割合がやや低かった。



※ R 2 三師統計は、病院従事者数データ。
※ 「病院（大学病院以外）」はR2三師統計における「病院（医育機関附属の病院を除く）の開設者または法人の代表者と勤務者の和」と同義であるとした。
※ 「病院（大学病院）」はR 2 三師統計における「医育機関附属の勤務者」と同義であるとした。